

二層用途のヒステリシス最小化

この技術メモでは、グリス注入用途、および長期にわたって高圧を安定させるという類似の用途において、ヒステリシスを最小にとどめて増圧器を増圧する方法を示しています。

300 cStを超え、加えて極めて減圧が遅い極めて厚い層（漏洩）は、高圧低下（ヒステリシス）、時には再び圧力を生成する前に停止の原因となります。

以下を推奨します。

- ヒステリシスを下げるため、短時間（1～2秒）IN（入力）ポートからの圧力を除去する。
- 吸気ポート上に層2タンクをセットするか、封入圧力ポンプの追加といったいずれかの方法で、S1およびS2の正圧を増加する。
- 粘度を下げるため、500 cSt以上の高ビスコースで層を加熱する。
- 層側1に切換制御バルブCVを取り付け、30秒ごとに1～2秒にわたり減圧する。

